

AXIS 1650 ユーザーズマニュアル

キヤノン製プリンタ、複合機専用プリントサーバ

2004 年 9 月発行 第 1 版 (R1.1)

* ホストベースの印刷方法である CAPT (Canon Advanced Printing Technology) および
Canon Advanced Raster Printing System に対応。

アクシスコミュニケーションズ株式会社

安全のために

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、けが、火災、故障などの原因になります。

表示の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告! データの消失やお使いの機器への損害を避けるために注意して読む必要があります。

重要: 操作上の損害を避けるために注意して読む必要があります。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、データや通信の消失、物的損害の発生する可能性があります。

異常時の処理について

万一、内部に水などが入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

万一、内部に異物が入った場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

警告 万一、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。すぐに電源アダプタ本体をコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、電源アダプタ本体をコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。

電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて

本装置に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災、感電、故障の原因となります。

本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。

警告 弊社の指示がない限り、本装置を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

弊社の指示がない限り、本装置のケースを外さないでください。電源部や内部に触れると火傷、感電、故障の原因となります。

ぬれた手で本装置を操作しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

注意 移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災、感電の原因となることがあります。

電源について

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

電源アダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源アダプタ(プラグ)の刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



警告

タコ足配線はしないでください。火災、過熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にまげたり、ねじったりしないでください。重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

近くに雷が発生したときは、電源アダプタや接続ケーブルなどを抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災、感電、故障の原因となります。



注意

電源アダプタを抜くときは、必ず電源アダプタ本体を持ってぬいてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となることがあります。

設置場所について

直射日光の当たるところや温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



注意

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は安全のために電源アダプタをコンセントから抜いて行ってください。

アルコール、ベンジン、シンナーなど、揮発性のものは使わないでください。変色、変形、変質や故障の原因となります。



注意

静電気集塵型化学ぞうきんは絶対に使わないでください。故障の原因となります。

年に一度は電源コードを抜き、プラグおよびコンセントに付着しているゴミ、ホコリ等を取り除いてください。

電波に関する適合性 (EMC)

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。UTP ケーブルを利用した場合、クラス B 情報技術装置としての適合性は無効となります。

米国

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- reorient or relocate the receiving antenna
- increase the separation between the equipment and receiver
- connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected
- consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help. Shielded (STP) network cables must be used with this unit to ensure compliance with the class B limits.

欧州

This digital equipment fulfils the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential, commercial, and light industry. Compliance is not valid for unshielded network cables.

豪州

This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard 1998 AS/NZS 3548. Compliance is not valid for unshielded network cables.

責任

アクシスコミュニケーションズ株式会社 (以下、**Axis**) は、このマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また **Axis** は、予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更、修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。**Axis** は、**Axis** 製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じるいかなる損害に対しても責任を負いません。**Axis** は、このマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切いたしません。

Axis の商標

AXIS CAPT Print Monitor は、Axis Communications AB の商標です。

その他の商標

Adobe Acrobat Reader、Ethernet、Microsoft、NetScape、Windows、その他このマニュアルに記載のプログラム、規格などの商品名、および製品名は、一般的に各社の商標または登録商標です。

Canon、NetSpot Device Installer (NSDI)、およびキヤノン製品の名称は、キヤノンの商標または登録商標です。

知的財産所有権

Axis Communications AB は、このマニュアルに記載されている製品で具体化された技術に関する知的財産所有権を保有しています。これらの知的財産所有権は、<http://www.axis.com/patent.htm> に記載されている 1 つまたは複数の特許、または、米国およびその他の国における 1 つまたは複数の追加特許、および特許申請中のアプリケーションを含んでいる場合があります。

その他

このマニュアルの制作には細心の注意を払っておりますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、info@axiscom.co.jp までご連絡ください。

AXIS 1650 ユーザーズマニュアル

第 1 版 (R1.1)

Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、2004

2004 年 9 月

目次

	安全のために	2
	このマニュアルについて	9
	Axis について	9
	サポートサービス	9
第 1 章	製品の概要	10
	パッケージの内容	10
	AXIS 1650 ネットワークプリントサーバ	10
第 2 章	基本インストール	13
	ネットワークに接続する	13
	IP アドレスを設定する	15
	NetSpot Device Installer を利用する	18
	IP アドレスとホスト名	21
第 3 章	Windows でプリンタを追加する	22
	AXIS CAPT Print Monitor を利用してプリンタポートをインストールする ..	22
	Windows 2000、XP、Server 2003 で AXIS CAPT Print Monitor を利用する ..	23
	Windows 98、Me で AXIS CAPT Print Monitor を利用する	29
	Windows 2000、XP、Server 2003 で標準 TCP/IP プリンタポートを利用する	32
第 4 章	設定と管理	36
	設定の概要	36
	Web ブラウザを利用する	37
	内部 Web ページにアクセスする	38
	ユーザモードの機能	39
	管理者モードの機能	41
	FTP を利用して AXIS 1650 を管理する	51
	SNMP を利用して AXIS 1650 を管理する	53
第 5 章	テストボタン	54
第 6 章	ファームウェアをアップグレードする	55
付録 A	ユニキャスト通信を使用する	58
付録 B	Windows XP SP2 の Windows ファイアウォール	62

技術仕様	65
保証について.....	67
索引	68

まえがき

AXIS 1650をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。**AXIS 1650**は、お使いのプリンタをネットワーク上に自由に接続し、すべてのネットワークユーザがその共有プリンタ資源にアクセスできるようにします。

このマニュアルについて

このマニュアルは、製品ソフトウェア（ファームウェア）バージョン **1.00** 以降を搭載した **AXIS 1650** に適用され、様々なネットワーク環境における **AXIS 1650** のセットアップ方法や管理について説明しています。このマニュアルは **AXIS 1650** のインストールや管理に関わる方々を対象としていますが、このマニュアルを十分に活用するには、基本的なネットワークの原理を知っている必要があります。

このマニュアルに含まれている手順は、ご購入直後の、まだ設定等が行われていない **AXIS 1650** をもとに記述されています。既に使用している **AXIS 1650** をこの手順にしたがって設定する場合は、まず **AXIS 1650** を工場出荷時のデフォルト設定にリセットしてください。詳しくは、54 ページ「テストボタン」を参照してください。

Axis について

Axis Communications はネットワークソリューションの価値を高めます。ネットワークビデオおよびプリントサーバ市場において、革新的なマーケットリーダーとして製品を提供し続けています。**Axis** 製品およびソリューションは、監視業務、リモートモニタリング、ドキュメント管理に重点を置いています。自社開発のチップ技術は、**Axis** 製品に組み込まれると同時に、サードパーティの企業にも販売されています。

Axis Communications AB は 1984 年に創業し、ストックホルム株式市場 O - list (XSSE:AXIS) に上場しています。世界 14ヶ国にオフィスを構え、さらに世界 70ヶ国に販売網をもっています。**Axis Communications** についての詳細は、www.axis.com にてご覧いただけます。

サポートサービス

インターネットをご利用になれる場合は、下記のアドレスから技術サポート情報、更新されたソフトウェア（ファームウェア）、ユーティリティソフトウェア、会社情報をご覧頂けます。

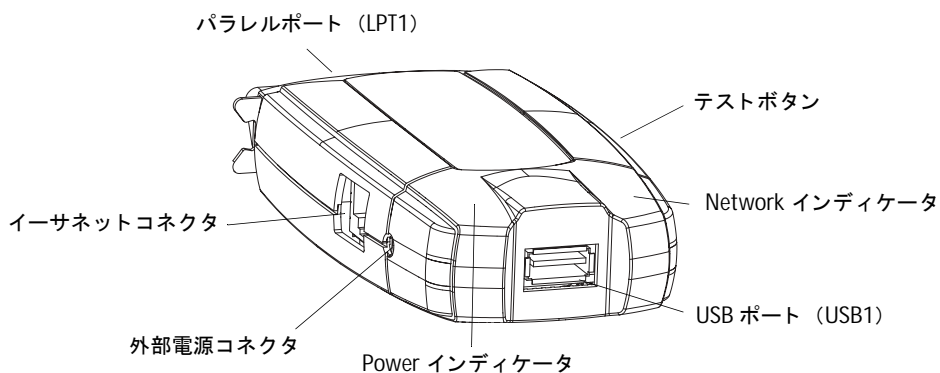
URL: <http://www.axiscom.co.jp/>

第 1 章 製品の概要

パッケージの内容

名称	備考	部品番号
AXIS 1650	ファームウェアバージョン 1.00 以降を搭載	0214-005
ホルダーとクリップ		20119
USB ケーブル	Low-Speed と Full-Speed に対応する USB ケーブル (70cm) *Hi-Speed には未対応	20208
外部電源アダプタ	PS-H	19110
ネットワークケーブル	シールド付きツイステペアカテゴリ 5 ケーブル (50cm)	16283
AXIS 1650 CD	rev.1.0 以上	
クイックインストールガイド	本書 (ユーザーズマニュアル) は AXIS 1650 CD に PDF ファイルとして収録	
ユーザ登録ハガキ		
オプションアクセサリ (別売)		部品番号
パラレルプリンタケーブル		13360
セントロニクス - ミニセントロニクス変換ケーブル		16453

AXIS 1650 ネットワークプリントサーバ



対応するプリンタ

AXIS 1650 は、キヤノン製のプリンタおよび複合機をネットワーク接続するために開発されました。ホストベースの印刷方法である CAPT (Canon Advanced Printing Technology) および Canon Advanced Raster Printing System に対応しています。

重要 : AXIS 1650 はキヤノン製以外のプリンタには対応していません。また、CAPT プリンタで印刷を行うには、必ず AXIS CAPT Print Monitor を使用する必要があります。

対応する環境

AXIS 1650 は、TCP/IP が動作する以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 98
- Windows Me
- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Server 2003

ネットワークへのインストール

以下の方法を利用して、AXIS 1650 をネットワークにインストールすることができます。

- ARP を利用して IP アドレスの設定を行い、続いて AXIS CAPT Print Monitor を利用してプリンタをインストールします。
- NetSpot Device Installer を利用して IP アドレスの設定を行い、続いて AXIS CAPT Print Monitor を利用してプリンタをインストールします。

NetSpot Device Installer はキヤノンホームページ (<http://canon.jp/>) からダウンロードすることができます。

設定と管理

AXIS 1650 の設定と管理は、TCP/IP プロトコルによって行われます。主な設定方法としては、Web ブラウザを使用します。詳しくは、37 ページ「Web ブラウザを利用する」を参照してください。

印刷プロトコル : TCP/IP

速度

AXIS ETRAX 100LX チップは LAN 製品向けに特別に設計されており、高いスループットを提供します。AXIS 1650 のデータスループットは、100BASE-TX で 1M バイト / 秒以上と高速です。また、ECP 高速セントロニクス通信に対応しています。

セキュリティ

AXIS 1650 の不正な設定変更を制限するためのパスワードを設定することができます。

監視

AXIS 1650 の内部 Web ページを利用して、プリンタのステータスを監視することができます。さらに、AXIS 1650 はリモート監視のための SNMP にも対応しています。

将来への対応

ネットワークを経由して AXIS 1650 のフラッシュメモリをアップグレードすることができます。新しい製品ソフトウェア（ファームウェア）がリリースされたときにアップグレードを素早く実行することができ、お使いの AXIS 1650 の機能を向上させることが可能です。

プリンタポート

- USB 1.1 および USB 2.0 で動作する USB ポートを 1 つ備えています (Low-Speed と Full-Speed に対応。Hi-Speed には対応していません)。
- プリンタの平行ポートに直接接続することができる、高速 IEEE 1284 互換平行ポートを 1 つ備えています。

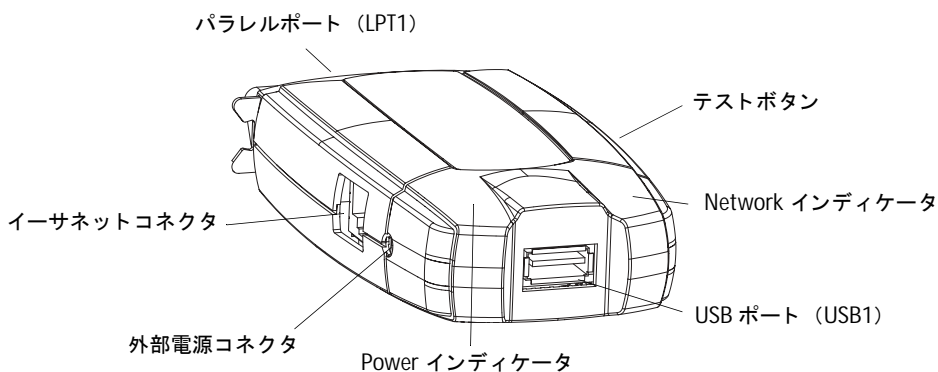
AXIS 1650 はほとんどのキヤノン製プリンタに接続できるよう 2 種類のポートを備えています。ただし、2 台のプリンタを同時に使用することはできません。

第 2 章 基本インストール

以下の手順にしたがって、AXIS 1650 をお使いのネットワークにインストールしてください。

- 手順 1 : 13 ページ「ネットワークに接続する」
- 手順 2 : 15 ページ「IP アドレスを設定する」
- 手順 3 : 22 ページ「Windows でプリンタを追加する」

ネットワークに接続する



底面ラベル

AXIS 1650 の MAC/ イーサネットアドレスは、製品本体の底面ラベルに記載されているシリアル番号に基づいています。



たとえば、シリアル番号が 00408C181CF0 の場合、MAC/イーサネットアドレスは00-40-8C-18-1C-F0のようになります。



1. 使用するプリンタの電源が切れていること、また **AXIS 1650** の外部電源アダプタがまだ**接続されていないこと**を確認します。
2. **AXIS 1650** の底面ラベルに記載されている、**シリアル番号**を控えてください。**AXIS 1650** を設定するときに、この番号が必要になります。
3. **USB ケーブル**を利用して **AXIS 1650** をプリンタの **USB ポート (USB1)** に接続するか、適切なプリンタケーブルを利用してプリンタの**パラレルポート (LPT1)** に接続します。または、プリンタの**パラレルポート (LPT1)** に直接 **AXIS 1650** を接続してください。

AXIS 1650 はほとんどのキャノン製プリンタに接続できるよう 2 種類のポートを備えています。ただし、接続された 2 台のプリンタを同時に使用することはできません。

4. ツイストペアカテゴリ 5 ケーブル (10BASE-T または 100BASE-TX) を利用して **AXIS 1650** をネットワークに接続します。
5. プリンタの電源を入れて、プリンタが使用できる状態になっていることを確認します。
6. **AXIS 1650** に専用の外部電源アダプタを接続し、**Power** インディケータが点灯することを確認してください。**AXIS 1650** が正しくネットワークに接続されると、**Network** インディケータが点滅し始めます。
7. オプションとして、付属のクリップとホルダーを利用して **AXIS 1650** をプリンタの背面や壁に設置することができます。

クリップ		粘着テープを剥がして AXIS 1650 に取付けます。
ホルダー		粘着テープを剥がし、プリンタの背面や壁など、 AXIS 1650 を設置する表面に取付けます。

IP アドレスを設定する

- IP アドレスの設定を行う前に、AXIS 1650 の底面ラベルに記載されているシリアル番号を控えてください。詳しくは、13 ページ「底面ラベル」を参照してください。
- ネットワーク管理者から未使用の IP アドレスを入手してください。

方法	オペレーティングシステム	参照先
ARP	Windows	固定の IP アドレスを手動で設定します。詳しくは、16 ページ「Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 で ARP を利用する」を参照してください。
	UNIX/Linux	固定の IP アドレスを手動で設定します。詳しくは、17 ページ「UNIX/Linux で ARP を利用する」を参照してください。
NetSpot Device Installer	Windows	ネットワーク上でプリントサーバを検出し、IP アドレスの設定を行うことができるキャノン製のソフトウェアです。 19 ページ「NetSpot Device Installer を利用して IP アドレスを設定する」を参照してください。

- AXIS 1650 は、デフォルトの状態では DHCP による IP アドレスの割り当てが無効に設定されています。DHCP を利用して動的に IP アドレスを割り当てる場合は、47 ページ「DHCP を有効にする」を参照して設定を変更してください。
- また、NetSpot Device Installer を利用して DHCP サーバから IP アドレスを取得するよう設定することも可能です。NetSpot Device Installer で DHCP による IP アドレスの設定を有効にすると、AXIS 1650 の DHCP の設定が有効に変更されます。

Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 で ARP を利用する

以下の手順にしたがって、Windows 環境で ARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開いて以下のコマンドを実行します。

```
arp -s <IP アドレス> <イーサネットアドレス>  
ping -l 479 <IP アドレス>
```

例 :

```
arp -s 192.168.3.191 00-40-8c-18-1c-f0  
ping -l 479 192.168.3.191
```

2. Windows は、Reply from 192.168.3.191 ... のようなメッセージを返すはずですが、これにより、IP アドレスが設定され、通信が確立したことが分かります。
Windows から Request time out... のようなメッセージが返された場合は、AXIS 1650 の外部電源アダプタを抜き差ししてプリントサーバを再起動し、上記の手順 1、2 を繰り返してください。
3. Web ブラウザを起動して AXIS 1650 の内部 Web ページにアクセスします (38 ページを参照)。
[管理者] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] ページを開き、**デフォルトゲートウェイ**および**サブネットマスク**を設定してください。また、**DHCP を有効にする**、**BOOTP を有効にする**、**RARP を有効にするオプション**をいいえに設定してください。

AXIS 1650 の IP アドレスが設定されました。22 ページ「Windows でプリンタを追加する」に進んでください。

注意 :

初めて ping コマンドを実行する際は、反応があるまでに通常よりも長く時間がかかることがあります。

UNIX/Linux で ARP を利用する

以下の手順にしたがって、UNIX/Linux 環境で ARP を利用して IP アドレスを設定してください。

1. シェルウィンドウを開き、以下のコマンドを実行してください。

```
arp -s <IP アドレス> <イーサネットアドレス> temp  
ping -s 479 <IP アドレス>
```

例：

```
arp -s 192.168.3.191 00:40:8c:18:1c:f0 temp  
ping -s 479 192.168.3.191
```

2. UNIX/Linux は、192.168.3.191 is alive のようなメッセージを返します。これにより、IP アドレスが設定され、通信が確立したことが分かります。
3. Web ブラウザを起動して AXIS 1650 の内部 Web ページにアクセスします (38 ページを参照)。[管理者] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] ページを開き、**デフォルトゲートウェイ**および**サブネットマスク**を設定してください。また、**DHCP を有効にする**、**BOOTP を有効にする**、**RARP を有効にするオプション**を いいえ に設定してください。

注意：

- arp コマンドの書式は、UNIX システムによって異なる場合があります。ある種の BSD 系システムは、IP アドレスとイーサネットアドレスの順番が逆である必要があります。
- 初めて ping コマンドを実行する際は、反応があるまでに通常よりも長く時間がかかる場合があります。

NetSpot Device Installer を利用する

NetSpot Device Installer は、ネットワーク上に接続されているキヤノン製品に IP アドレスを割り当てたり、管理を行うためのソフトウェアです。NetSpot Device Installer はご利用のキヤノン製プリンタに付属の CD-ROM に収録されています。

付属の CD-ROM によっては、NetSpot Device Installer が収録されていない場合があります。付属の CD-ROM に、NetSpot Device Installer が同梱されていない場合は、キヤノンホームページ (<http://canon.jp/>) からダウンロードしてください。

NetSpot Device Installer をインストールする

1. Windows 2000、XP 環境をご利用の場合は、Administrator のメンバーとしてコンピュータにログオンしてください。プリンタに付属している CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Windows のエクスプローラを開き、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックします。
3. NetSpot_Device_Installer¥Windows¥nsdsetup.exe をダブルクリックします。
4. ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。内容をよくお読みになり、**[はい]** をクリックしてください。
5. インストール先を指定し、**[OK]** をクリックします。インストール画面が表示されます。

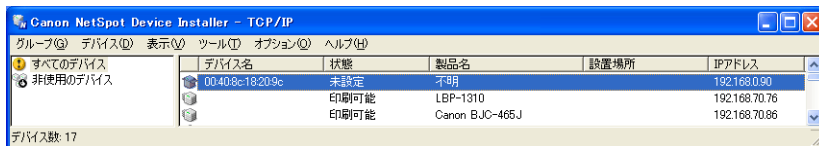
[スタートメニューに追加する] にチェックを付けると、Windows の **[スタート]** メニューに NetSpot Device Installer を追加することができます。

6. メッセージが表示されたら **[OK]** をクリックしてインストールを完了します。19 ページ「NetSpot Device Installer を利用して IP アドレスを設定する」へ進んでください。

NetSpot Device Installer を利用して IP アドレスを設定する

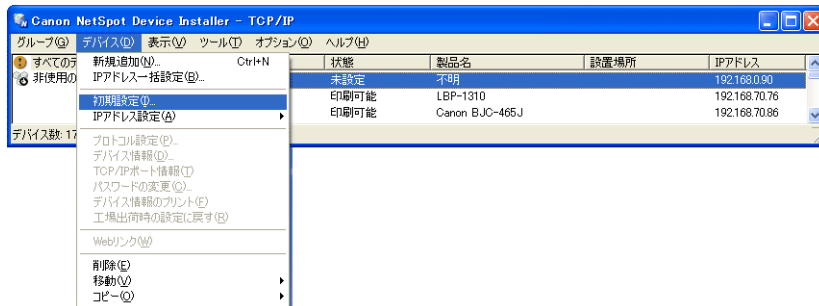
以下の手順にしたがって、NetSpot Device Installer を利用して AXIS 1650 の IP アドレスを設定してください。

1. NetSpot Device Installer を起動します。メイン画面が開き、ネットワーク上で検出されたデバイスのリストが表示されます。
2. [デバイス名] に AXIS 1650 の MAC アドレスが表示されているデバイスを選択します。また [IP アドレス] には、AXIS 1650 のデフォルトの IP アドレス (196.168.0.90) が表示されます。

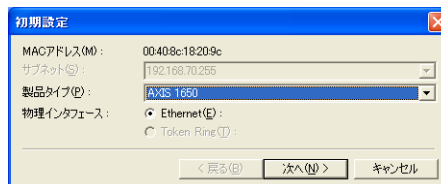


MAC アドレスは、AXIS 1650 の底面ラベルに記載されているシリアル番号に基づいています。

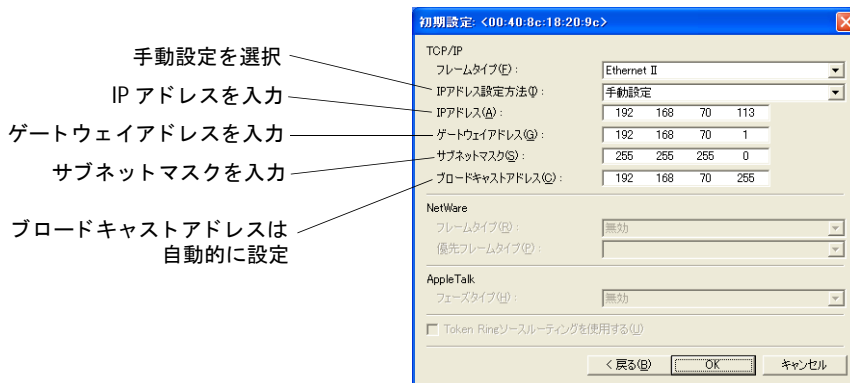
3. [デバイス] メニューから [初期設定...] を選択します。



4. [初期設定] ダイアログボックスが表示されます。[製品タイプ] プルダウンメニューから AXIS 1650 を選択し、[次へ] をクリックします。



5. TCP/IP プロトコルを設定します。



6. 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

「デバイスをリセットしました」と表示されたら、[OK] をクリックしてください。

7. [OK] をクリックします。プロトコルの設定が終了し、AXIS 1650 の IP アドレスが設定されました。続いて、22 ページ「Windows でプリンタを追加する」へ進んでください。

IP アドレスとホスト名

ホスト名を利用している場合、IP アドレスに唯一のホスト名を関連付けることができます。ホスト名の関連付けについては、お使いのシステムのマニュアルを参照するか、ネットワーク管理者に相談してください。

注意：

- AXIS 1650 をインストールするには、AXIS 1650 のイーサネットアドレスが必要になります。イーサネットアドレスは、AXIS 1650 のシリアル番号に基づいています。たとえば、00408C181CF0 というシリアル番号を持つ AXIS 1650 のイーサネットアドレスは、00 40 8C 18 1C F0 となります。シリアル番号は、AXIS 1650 の底面ラベルに記載されています。
- AXIS 1650 をインストールする際に、このマニュアルの例に記載されている IP アドレスを使用しないでください。
- arp コマンドと ping コマンドによる IP アドレスの設定方法は、単一のネットワークセグメントでのみ使用することができます。ルータを越えて設定することはできません。
- AXIS 1650 のデフォルトのホスト名は、「AXIS」にシリアル番号の下 6 桁の英数字が続いた文字列で構成されます（例：AXIS181636）。ホスト名を変更する場合は、内部 Web ページから [管理者] - [一般設定 - 変更] をクリックし、[一般] タブの [プリントサーバ名] フィールドを変更してください。
- WINS サーバと DDNS サーバで同じホスト名を登録する場合、ホスト名は 15 文字以内で設定する必要があります。また、ホスト名に使用できる文字は、「A-Z」、「a-z」、「0-9」、およびハイフン (-) となります。
- WINS を利用している場合は、DHCP スコープに WINS サーバの IP アドレスを少なくとも 1 つ含める必要があります。AXIS 1650 は、IP アドレスを受け取るとすぐに、WINS サーバ上にホスト名と IP アドレスを登録します。
- ホスト名と IP アドレスの関連付けが行われていない場合でも、この章に含まれている IP アドレスの設定方法を使用することができます。この場合、ホスト名の部分を単純に IP アドレスで置き換えてください。

第 3 章 Windows でプリンタを追加する

AXIS CAPT Print Monitor を利用してプリンタポートをインストールする

AXIS CAPT Print Monitor は、ネットワーク印刷を行うために開発された Windows コンポーネントです。AXIS CAPT Print Monitor はキヤノン製のプリンタ（CAPT、Canon Advanced Raster Printing System）のインストールに推奨されるツールです。

CAPT プリンタで印刷を行うには、必ず AXIS CAPT Print Monitor を使用する必要があります。

AXIS CAPT Print Monitor を利用することにより、ローカルプリンタポートに接続するのと同じように AXIS 1650 に接続できるようになります。AXIS CAPT Print Monitor は、一度インストールされると、システムの起動時に自動的に立ち上がるようになります。ピアツーピア印刷を行うには、それぞれのコンピュータに AXIS CAPT Print Monitor をインストールする必要があります。

お使いのネットワーク環境に適した方法で、AXIS CAPT Print Monitor を利用してプリンタをインストールしてください。

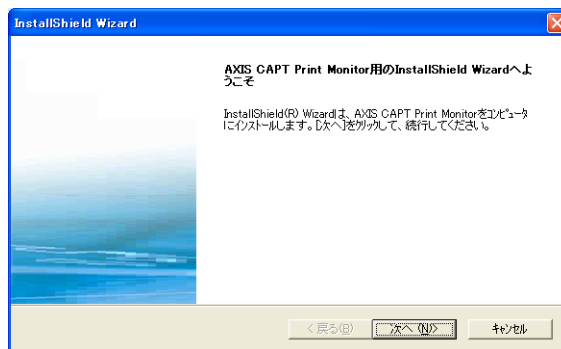
- 23 ページ「Windows 2000、XP、Server 2003 で AXIS CAPT Print Monitor を利用する」
- 29 ページ「Windows 98、Me で AXIS CAPT Print Monitor を利用する」

また、32 ページ「Windows 2000、XP、Server 2003 で標準 TCP/IP プリンタポートを利用する」も参照してください。

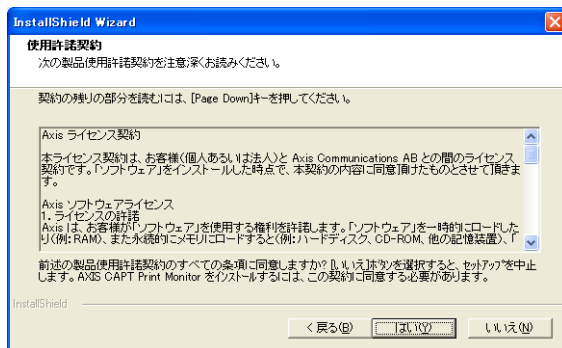
Windows 2000、XP、Server 2003 で AXIS CAPT Print Monitor を利用する

以下の手順にしたがって、Windows 2000、XP、Server 2003 環境で AXIS CAPT Print Monitor を利用してプリンタをインストールしてください。

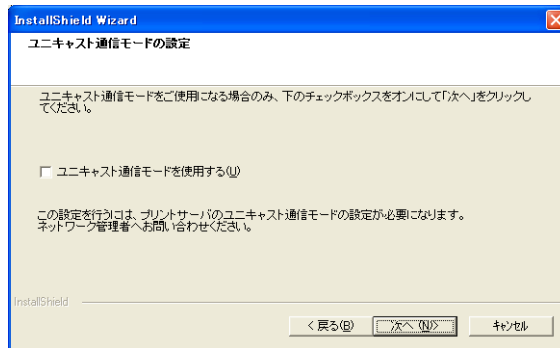
1. **AXIS CAPT Print Monitor** をお使いのコンピュータにインストールしてください。**AXIS CAPT Print Monitor** は **AXIS 1650 CD** に収録されています。また、**Axis** のホームページからダウンロードすることができます (<http://www.axiscom.co.jp/>)。
2. **AXIS 1650 CD** を CD-ROM ドライブに挿入します。Web ブラウザが起動して html ベースのページが表示されます。画面右側の日本の国旗をクリックして日本語表示に切り替えます。
3. 画面上部の [ソフトウェア] リンクをクリックし、[**AXIS CAPT Print Monitor**] リンクをクリックしてインストールを開始します。[次へ] をクリックします。



4. ライセンス契約書の内容を確認してください。内容に同意される場合は、[はい] をクリックしてください。



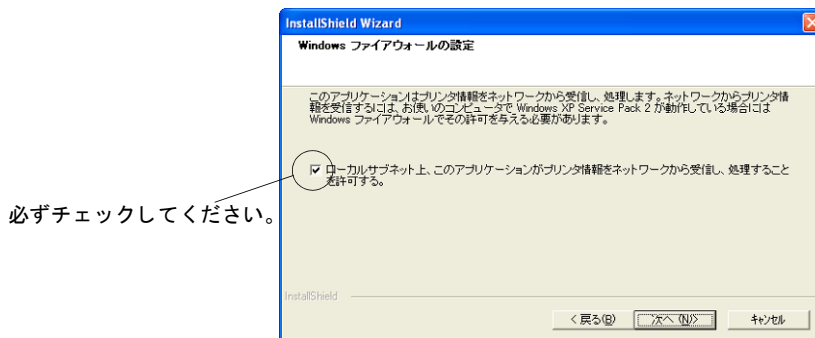
5. [ユニキャスト通信モードを使用する] * の チェックを付けずに [次へ] をクリックしてください。



* ブロードキャストによるステータスの更新を無効に設定してユニキャストを使用する場合は、58 ページ「ユニキャスト通信を使用する」を参照してください。

6. Windows XP/Server 2003 の場合

[ローカルサブネット上、このアプリケーションがプリンタ情報をネットワークから受信し、処理することを許可する] にチェックを付けてください。



Windows XP で Service Pack 2 (SP2) を適用したコンピュータの場合、ブロードキャスト通信を使用するには Windows ファイアウォールの設定で UDP ポート (10260) を開ける必要があります。AXIS CAPT Print Monitor のインストール時に上記のオプションを有効にして AXIS CAPT Print Monitor をインストールすると、AXIS CAPT Print Monitor 用に UDP ポート (10260) が自動的に開けられます。

7. ファイルコピーの開始画面が表示されます。[次へ] をクリックしてください。

8. [完了] をクリックしてインストールを終了してください。



9. Windows XP Professional Edition/Server 2003 :

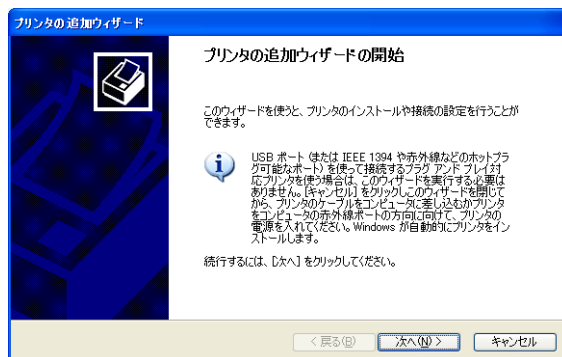
[スタート] - [プリンタと FAX] - [プリンタのインストール] をクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。

Windows XP Home Edition :

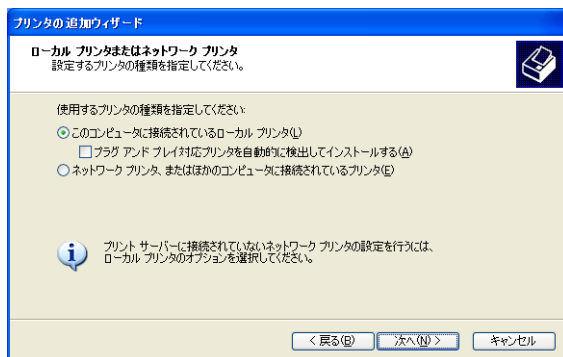
[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] - [プリンタのインストール] をクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。

Windows 2000:

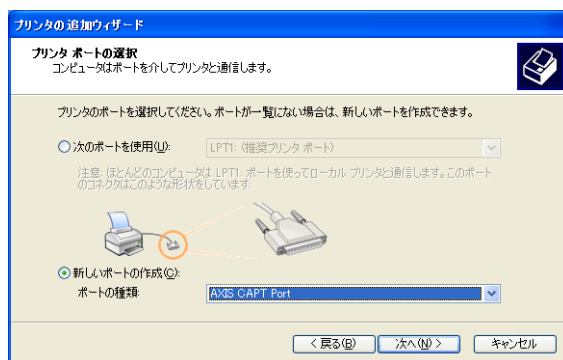
[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。



10. [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択します。[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックが外れていることを確認してください。[次へ] をクリックします。

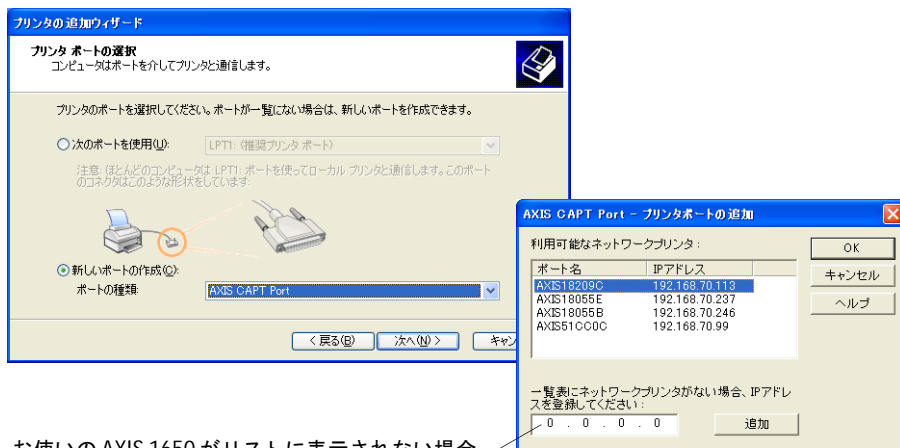


11. プリンタポートの選択画面が表示されます。[新しいポートの作成] を選択し、ポートの種類から **AXIS CAPT Port*** を選択します。[次へ] をクリックします。



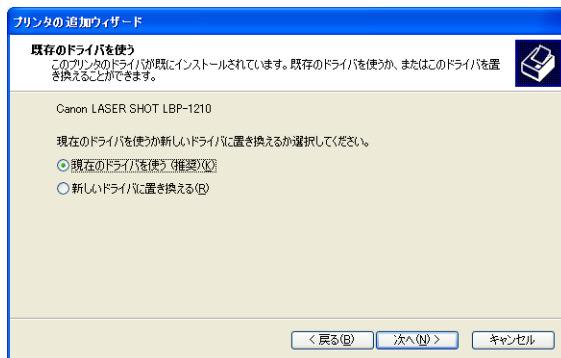
* **AXIS CAPT Port** という名称は、CAPT、Canon Advanced Raster Printing System 対応プリンタを含むすべてのキャノン製プリンタに使用されます。

12. [AXIS CAPT Port - プリンタポートの追加] 画面が表示されます。[利用可能なネットワークプリンタ] からお使いの AXIS 1650 を選択し、[OK] をクリックします。



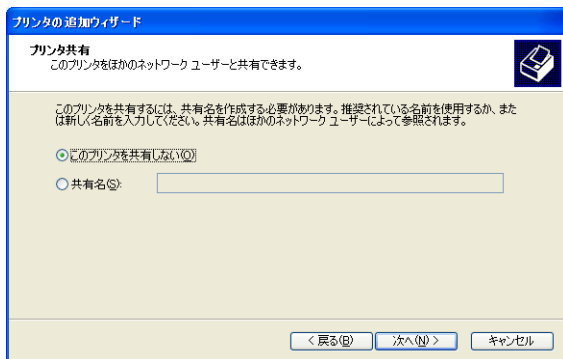
お使いの AXIS 1650 がリストに表示されない場合は、IP アドレスを入力して [追加] をクリックしてください。

13. プリンタの製造元とモデルを選択し、[次へ] をクリックします。
14. 選択したドライバが既にコンピュータにインストールされている場合、既存のドライバを使用するか、新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されます。[次へ] をクリックします。

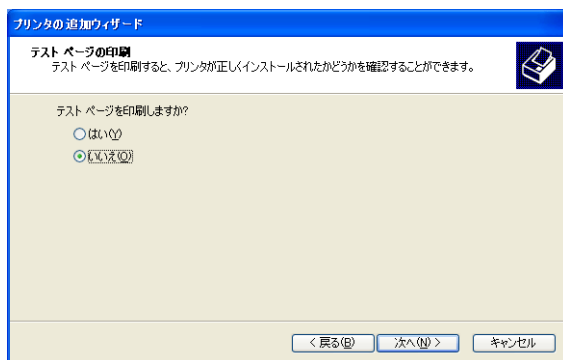


15. プリンタの名前を入力する画面が表示されます。適切なプリンタ名を入力し、また、インストール中のプリンタを通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択します。[次へ] をクリックします。

16. プリンタの共有を指定する画面が表示されます。[次へ] をクリックします。



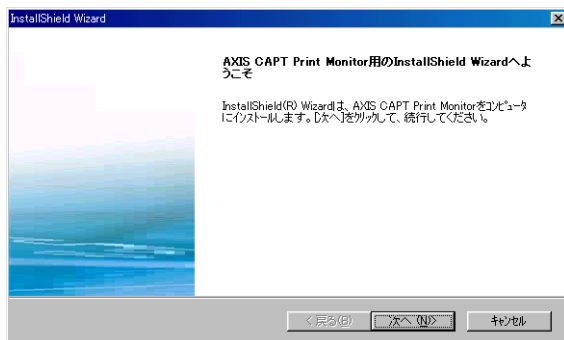
17. テストページの印刷画面が表示されます。[はい] をクリックしてテストページを印刷し、プリンタが正しくインストールされていることを確認してください。[次へ] をクリックし、[完了] をクリックしてプリンタの追加ウィザードを終了します。



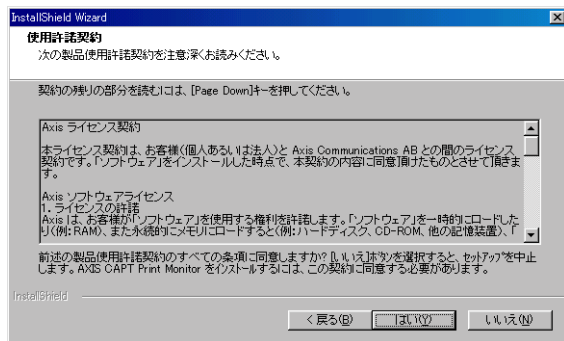
Windows 98、Me で AXIS CAPT Print Monitor を利用する

以下の手順にしたがって、Windows 98、Me 環境で AXIS CAPT Print Monitor を利用してプリンタをインストールしてください。

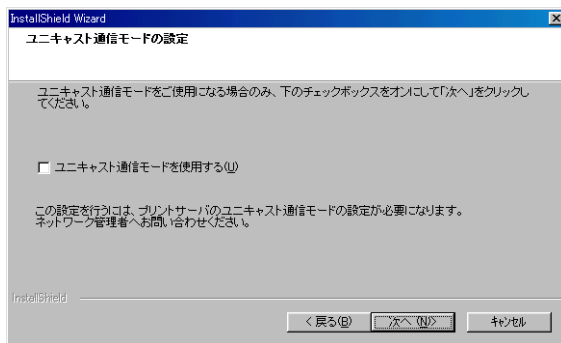
1. **AXIS CAPT Print Monitor** をお使いのコンピュータにインストールしてください。AXIS CAPT Print Monitor は AXIS 1650 CD に収録されています。また、Axis のホームページからダウンロードすることができます (<http://www.axiscom.co.jp/>)。
2. **AXIS 1650 CD** を CD-ROM ドライブに挿入します。Web ブラウザが起動して html ベースのページが表示されます。画面右側の日本の国旗をクリックして日本語表示に切り替えます。
3. 画面上部の [ソフトウェア] リンクをクリックし、[AXIS CAPT Print Monitor] リンクをクリックしてインストールを開始します。[次へ] をクリックします。



4. ライセンス契約書の内容を確認してください。内容に同意される場合は、[はい] をクリックしてください。



5. [ユニキャスト通信モードを使用する] * の チェックを付けずに [次へ] をクリックしてください。



* ブロードキャストによるステータスの更新を無効に設定してユニキャストを使用する場合は、58 ページ「ユニキャスト通信を使用する」を参照してください。

6. ファイルコピーの開始画面が表示されます。[次へ] をクリックしてください。
7. [完了] をクリックしてインストールを終了してください。



8. [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。
9. ローカルプリンタまたはネットワークプリンタを選択する画面が表示されます。AXIS 1650 はローカルプリンタポートとして振る舞うため、**ローカルプリンタ**を選択します。[次へ] をクリックします。
10. プリンタの製造元とモデルを選択し、[次へ] をクリックします。
プリンタにプリンタドライバのインストールディスクが付属している場合は、コンピュータの CD-ROM ドライブにディスクを挿入し、[ディスク使用 ...] をクリックします。適切なドライブを選択して [OK] をクリックします。
11. インストールするプリンタドライバを選択して [次へ] をクリックします。

12. 使用するポートを選択して [次へ] をクリックします。

- ポートは、<名前>. のように表示されます。<名前>. は、デフォルトで「**AXIS**」の後に **AXIS 1650** のシリアル番号の下 6 桁が続いたもので、たとえば、**AXIS560B35**. のように表示されます。
- リモート TCP/IP ポートをインストールする場合（TCP/IP ポートがリストに表示されない場合など）は、LPT1 ポートを選択し、手順 12 を行ってから次の「リモートプリンタポート」に進んでください。

13. 適切なプリンタ名を入力して [完了] をクリックします。

リモートプリンタポート

1. 上記の手順で Windows 98、Me 環境にインストールしたプリンタが、Windows の [プリンタ] フォルダに表示されます。インストールしたプリンタアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。
2. [詳細] タブを選択し、[ポートの追加...] をクリックしてポートの追加画面を表示します。
3. [その他] をクリックします。AXIS CAPT Port* を選択し、[OK] をクリックします。

* AXIS CAPT Port という名称は、CAPT、Canon Advanced Raster Printing System 対応プリンタを含むすべてのキヤノン製プリンタに使用されます。

4. [AXIS CAPT Port - プリンタポートの追加] 画面が表示されます。お使いの **AXIS 1650** の IP アドレスを入力し、[追加] をクリックします。
5. 一覧表にポートが追加され、反転表示されます。[OK] をクリックしてプリンタポートダイアログに戻り、[閉じる] をクリックします。

Windows 2000、XP、Server 2003 で標準 TCP/IP プリンタポートを利用する

重要: CAPT プリンタで印刷を行うには、必ず AXIS CAPT Print Monitor を使用する必要があります。Windows が提供する標準 TCP/IP プリンタポートを利用して印刷を行うことはできません。

以下の手順にしたがって、Windows 2000、XP、Server 2003 環境で Windows の標準 TCP/IP プリンタポートを利用してネットワークプリンタをインストールしてください。

1. Windows XP/Server 2003 :

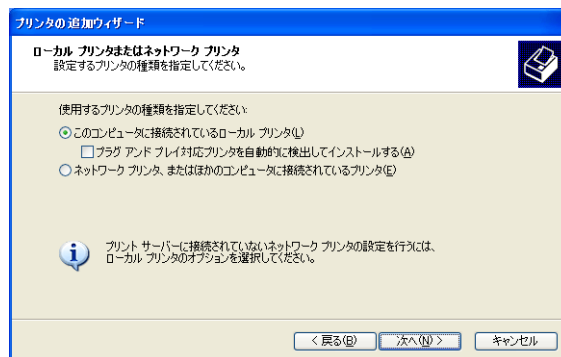
[スタート] - [プリンタと FAX] - [プリンタのインストール] をクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。

Windows 2000:

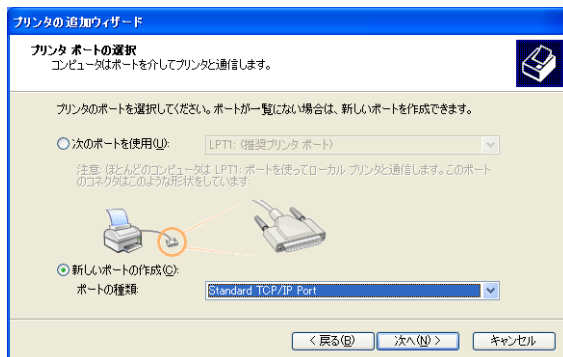
[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。

[次へ] をクリックします。

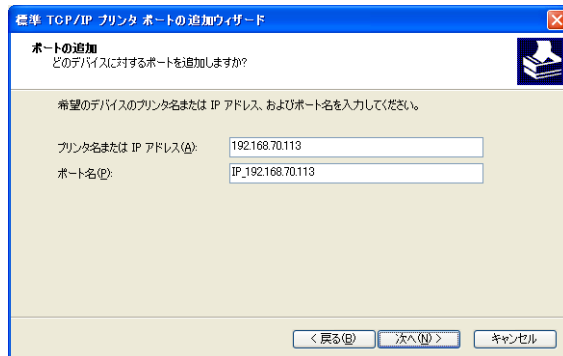
2. [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択します。[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックが外れていることを確認してください。[次へ] をクリックします。



3. プリンタポートの選択画面が表示されます。[新しいポートの作成] を選択し、ポートの種類から **Standard TCP/IP Port** を選択します。[次へ] をクリックします。標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動します。[次へ] をクリックします。



4. [プリンタ名または IP アドレス] フィールドに、**AXIS 1650** の IP アドレスを入力します (例: **192.168.3.191**)。[ポート名] フィールドには、自動的に値が入力されます。[次へ] をクリックします。

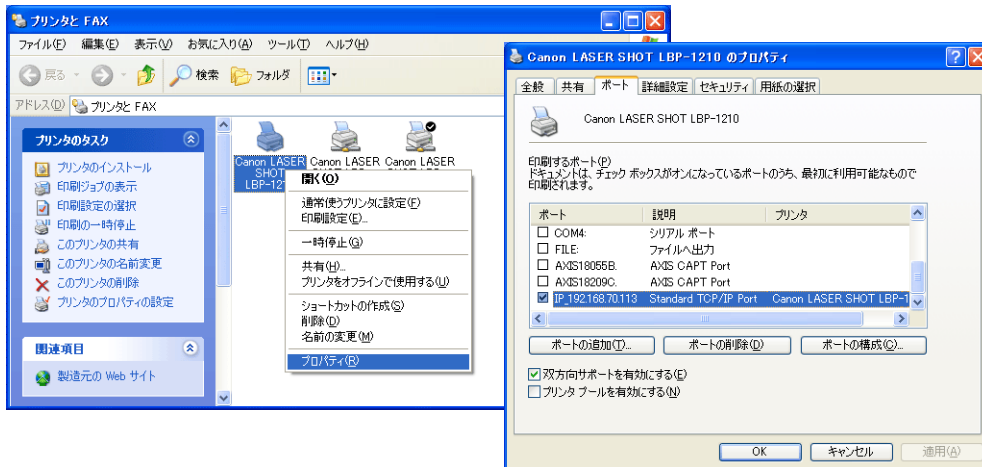


5. 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了画面が表示されます。[完了] をクリックします。
6. プリンタの製造元とモデルを選択し、[次へ] をクリックします。
選択したドライバが既にコンピュータにインストールされている場合、既存のドライバを使用するか、新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されます。[次へ] をクリックします。
7. プリンタの名前を入力する画面が表示されます。適切なプリンタ名を入力し、また、インストール中のプリンタを通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択します。[次へ] をクリックします。
8. プリンタの共有を指定する画面が表示されます。[次へ] をクリックします。

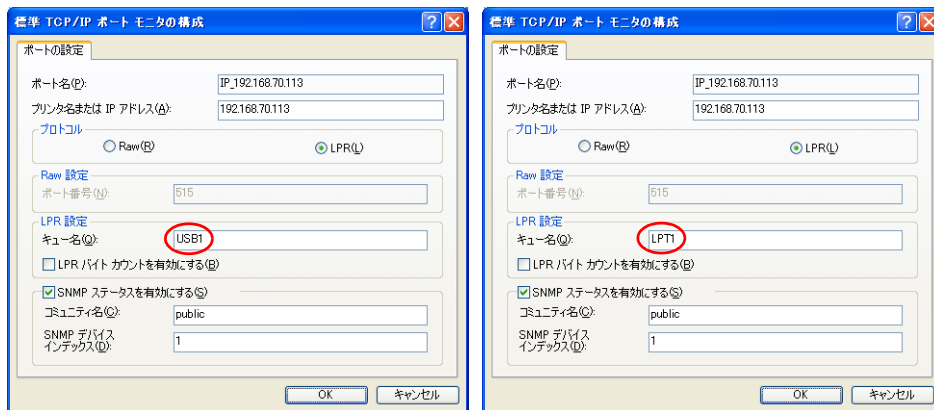
9. テストページの印刷画面が表示されます。[いいえ] を選択して [次へ] をクリックします。[完了] をクリックしてプリンタの追加ウィザードを終了します。



10. Windows のデスクトップから [スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから [プロパティ] を選択します。プロパティの画面で [ポート] タブを選択し、[ポートの構成 ...] をクリックします。



11. [LPR 設定] の下の [キュー名] フィールドに、z が入力されています。使用するプリンタポートに合わせて、[キュー名] フィールドの値を **USB1** または **LPT1** に変更します。[OK] をクリックしてポートモニタの構成画面を閉じ、プリンタのプロパティ画面で [適用] をクリックします。



12. [全般] タブを選択し、[テストページの印刷] をクリックしてプリンタが正しくインストールされていることを確認してください。

第 4 章 設定と管理

AXIS 1650 がサポートする設定・管理ツールは、以下のことを可能にします。

- AXIS 1650 のパラメータを変更する
- プリントジョブに関する拡張情報を入手する
- プリンタポートのステータスを入手する
- お使いのプリンタを監視する
- AXIS 1650 をリセットする

設定の概要

AXIS 1650 の設定・管理は TCP/IP ネットワークで行ってください。利用可能な設定方法は、以下のとおりです。

設定・管理方法

- Web ブラウザ - 37 ページ
- FTP - 51 ページ
- SNMP - 53 ページ

Web ブラウザを利用する

AXIS 1650 の内部 Web ページには、Web ブラウザを利用してアクセスすることができます。内部 Web ページを利用して、AXIS 1650 の設定や接続されているプリンタを管理することができます。

15 ページ「IP アドレスを設定する」の手順にしたがって AXIS 1650 に IP アドレスを設定すると、標準的な Web ブラウザから AXIS 1650 の内部 Web ページにアクセスできるようになります。内部 Web ページは、ユーザモードと管理者モードの 2 種類に分かれています。

- **ユーザモード**

ユーザモードでは、すべてのパラメータを設定することはできません。変更可能なパラメータは、内部 Web ページの表示に使用する言語だけです。ユーザモードは、管理者権限を持たないユーザが、プリントジョブやプリンタのプロパティを内部 Web ページで確認するためのページです。AXIS 1650 の設定を変更する場合は、管理者モードに入る必要があります。詳しくは、39 ページ「ユーザモードの機能」を参照してください。

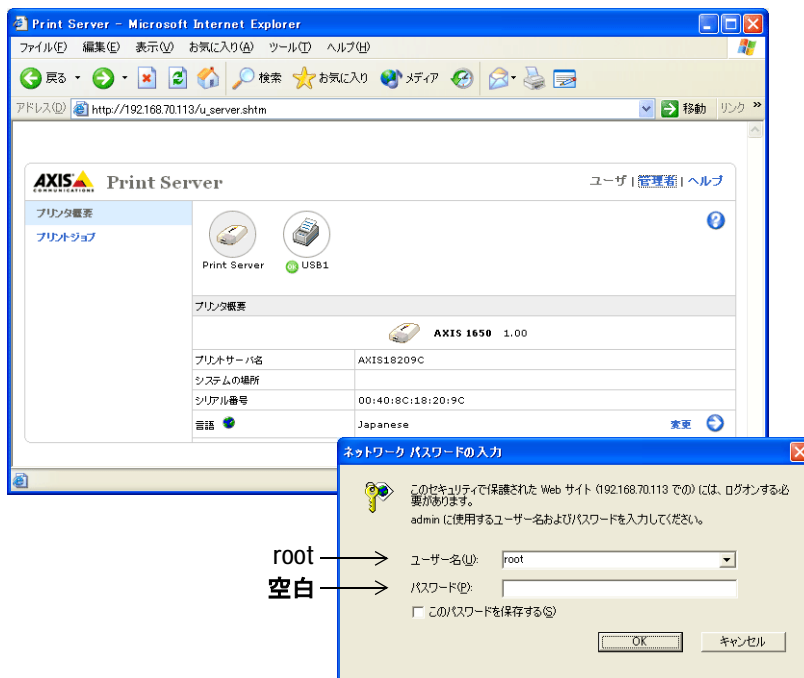
- **管理者モード**

管理者モードでは、AXIS 1650 のすべてのパラメータにアクセスし、自由に設定を変更することができます。管理者モードはネットワーク管理者のためのページで、権限のないユーザによる AXIS 1650 のパラメータ変更を防ぐために、パスワードで保護することができます。詳しくは、41 ページ「管理者モードの機能」を参照してください。

内部 Web ページにアクセスする

以下の手順にしたがって、AXIS 1650 の内部 Web ページにアクセスしてください。

1. Web ブラウザを起動します。[場所 / アドレス] フィールドに、AXIS 1650 の IP アドレス（またはホスト名）を入力して **Enter** キーを押します。
2. [プリンタ概要] ページが表示されます。[管理者] リンクをクリックして管理者ページにアクセスします。
3. ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示された場合は、ユーザ名に **root** を入力し、パスワードには何も入力せずに [OK] をクリックします。



デフォルトのパスワードはできるだけ早く変更するようにしてください。パスワードの変更は、[管理者] - [一般設定 - 変更] - [Root パスワード] フィールドで行うことができます。

ユーザモードの機能

ユーザモードでは、以下の機能が利用できます。Axis のロゴをクリックして、Axis のホームページへアクセスすることもできます。

プリンタ概要

[プリンタ概要] ページには、AXIS 1650 および接続されているプリンタの一般的なパラメータ設定が表示されます。

プリンタアイコンをクリックすると、接続されているプリンタのステータスやプリンタが対応している機能が表示されます。ただし、表示される情報はプリンタによって異なります。



プリンタアイコンの下には、プリンタのステータスを表すマークが表示されます。

- 緑色 - プリンタが印刷できる状態であることを示します。
- 黄色 - 警告を示します。
- 赤色 - エラーが発生していることを示します。

プリントサーバ名

ユーザが AXIS 1650 をネットワーク上で認識するための名前です。デフォルトの名前は `AXISxxxxxx` のように表示され、`xxxxxx` には AXIS 1650 のシリアル番号の下 6 桁の英数字が入ります。

システムの場所

AXIS 1650 の設置場所などの情報が表示されます。

シリアル番号

すべての Axis 製品は、シリアル番号によって個々に識別されます。シリアル番号は、AXIS 1650 の底面ラベルに記載されています。

言語

AXIS 1650 の内部 Web ページは、日本語または英語で表示することができます。表示言語を変更する場合は、[言語 - 変更] ボタンをクリックしてください。

プリンタステータス

プリンタのアイコンをクリックすると、プリンタポートに接続されているプリンタのステータスや機能が表示されます。表示される情報には、ステータスの詳細、製造元、コマンドセット、プリンタの機能などが含まれます。[ネットワーク名] ボタンをクリックすると、対応するネットワーク環境でプリンタを識別するために使用されている名前の一覧が表示されます。

プリントジョブ

[プリントジョブ] ページでは、印刷されたページ数などを含む、プリントジョブのステータスを確認することができます。また、ドキュメント名、オーナー、ページ数、印刷日時を含む、直近 32 個のログファイルを見ることができます。

- **プリンタの使用状況** - AXIS 1650 に接続されているプリンタの使用状況を確認することができます。
- **プリンタ** - プリンタのモデルを表示します。
- **ポート** - プリンタが接続されているポートを表示します。
- **ステータス** - プリンタのステータスを表示します。表示されるステータスは、3 種類（印刷できます、ビジー、オフライン）です。
- **印刷されたページ** - プリンタで印刷されたページ数を表示します。
- **プリントサーバの稼働時間** - AXIS 1650 が再起動してから稼働している時間を表示します。ドキュメントの印刷日時は、NTP サーバに接続されている場合のみ有効となります。

注意：

- プrintジョブのログは、AXIS 1650 を再起動するとクリアされます。
- お使いのプリンタのタイプによっては、印刷されたページ数を表示できないことがあります。

ヘルプ

[ヘルプ概要] ページには、AXIS 1650 および内部 Web ページの基本的な情報が表示されます。

管理者モードの機能

管理者モードでは、以下の機能が利用できます。Axis のロゴをクリックして、Axis のホームページへアクセスすることもできます。

プリントサーバ

[プリントサーバ] ページでは、プリントサーバ名、システムの種類、シリアル番号などを含む、AXIS 1650 の一般的なパラメータ設定の確認および変更が行えます。また、AXIS 1650 を再起動したり、設定を工場出荷時の状態にリセットするなどの管理作業も行えます。

[プリントサーバ] ページに表示されるパラメータは、[一般設定 - 変更] - [一般] タブで変更することができます。

警告！

- すべてのプリントサーバのパラメータには、適切なデフォルト値が設定されています。ほとんどの場合、これらのデフォルト値を変更する必要はありません。
- ネットワークの設定を変更する場合は、ネットワーク管理者に相談するようにしてください。

一般設定 - 一般タブ

モデル

プリントサーバのモデルが表示されます。

ソフトウェアバージョン

プリントサーバに搭載されている内部ソフトウェア（ファームウェア）のバージョンが表示されます。

シリアル番号

すべての Axis 製品は、シリアル番号によって個々に識別されます。シリアル番号は、AXIS 1650 の底面ラベルに記載されています。詳しくは、13 ページ「基本インストール」を参照してください。

プリントサーバ名

ユーザが AXIS 1650 をネットワーク上で認識するための名前です。デフォルトの名前は AXISxxxxxx のように表示され、xxxxxx には AXIS 1650 のシリアル番号の下 6 桁の英数字が入ります。

例: シリアル番号が 00 40 8C 18 16 36 の場合、プリントサーバ名は AXIS181636 のようになります。

システムの名前

ユーザに対してネットワークプリンタを識別できるようにする名前です。

デフォルト値 = <空白>

システムの場所

AXIS 1650 の設置場所などの情報を入力します。

デフォルト値 = <空白>

システムの連絡先

システム管理者など、担当者の名前を入力します。

デフォルト値 = <空白>

システムのコンタクト先の電話番号

システム管理者など、担当者の電話番号を入力します。

デフォルト値 = <空白>

システムのコメント

ネットワークプリンタに関するコメントを入力します。

デフォルト値 = <空白>

言語

AXIS 1650 の内部 Web ページの表示に使用する言語を選択します。

- 英語
- 日本語

Root パスワード

root ユーザ用のパスワードを入力します。パスワードは、15 文字までの英数字で設定してください。

デフォルト値 = *pass*

SNMP を有効にする

- はいを選択すると、SNMP プロトコルを利用したアクセスを許可します。
- いいえを選択すると、SNMP プロトコルを利用したアクセスを拒否します。

デフォルト値 = はい

コミュニティ名

SNMP のコミュニティ名を指定します。コミュニティ名は、32 文字までの英数字で設定してください。
デフォルト値 = *public*

一般設定 - 制限タブ

TCP 制限

[TCP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザに対し、[TCP 制限モード] の設定に応じて AXIS 1650 を経由したプリントジョブの送信を承認、または拒否します。

デフォルト値 = いいえ

TCP 制限モード

- **承認**は、[TCP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザに対し、プリントサーバを経由してプリントジョブを送信することを許可します。
- **拒否**は、[TCP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザに対し、プリントサーバを経由してプリントジョブを送信することを拒否します。

デフォルト値 = 承認

TCP 制限 IP アドレスリスト

リストに指定したユーザに対し、プリントサーバを利用した印刷を承認、または拒否します。指定するには、IP アドレス、または IP アドレスの範囲を以下のように入力して [追加] をクリックします。

IP アドレスを指定した例 : *10.13.6.150*

IP アドレスの範囲を指定した例 : *10.13.16.160-10.13.16.170*

デフォルト値 = <空白>

TCP 制限モードで印刷を拒否されている場合、AXIS 1650 に CAPT 1.0 プリンタを接続すると「ネットワークエラー」というメッセージが表示されます。

SNMP 制限

[SNMP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザに対し、[SNMP 制限モード] の設定に応じて承認、または拒否のいずれかを適用します。

デフォルト値 = いいえ

SNMP 制限モード

- **承認**は、[SNMP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザだけが SNMP プロトコルを使用してプリントサーバの設定を指定 / 閲覧することを承認します。
- **拒否**は、[SNMP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザだけが SNMP プロトコルを使用してプリントサーバの設定を指定 / 閲覧することを拒否します。

デフォルト値 = 承認

SNMP 制限 IP アドレスリスト

リストに指定したユーザに対し、承認または拒否のいずれかを適用します。指定するには、SNMP を利用しているデバイスの設定を確認し、IP アドレス、または IP アドレスの範囲を以下のように入力して [追加] をクリックします。

IP アドレスを指定した例：10.13.6.150

IP アドレスの範囲を指定した例：10.13.16.160-10.13.16.170

デフォルト値 = <空白>

SLP 制限

[SLP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザに対し、[SLP 制限モード] の設定に応じて承認、または拒否のいずれかを適用します。

デフォルト値 = いいえ

SLP 制限モード

- **承認**は、[SLP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザだけが SLP プロトコルを使用してプリントサーバの設定を指定 / 閲覧することを承認します。
- **拒否**は、[SLP 制限 IP アドレスリスト] に指定されているユーザだけが SLP プロトコルを使用してプリントサーバの設定を指定 / 閲覧することを拒否します。

デフォルト値 = 承認

SLP 制限 IP アドレスリスト

リストに指定したユーザに対し、承認または拒否のいずれかを適用します。指定するには、SLP を利用しているデバイスの設定を確認し、IP アドレス、または IP アドレスの範囲を以下のように入力して [追加] をクリックします。

IP アドレスを指定した例：10.13.6.150

IP アドレスの範囲を指定した例：10.13.16.160-10.13.16.170

デフォルト値 = <空白>

パラメータリスト - 詳細表示

すべてのパラメータの現在の設定を表示します。

再起動

AXIS 1650 を再起動します。Power インディケータが点灯し、Network インディケータが点滅し始めると、AXIS 1650 が使用できる状態になったことを示します。再起動が完了すると、新しい設定が有効になります。

再起動を行っている間、AXIS 1650 との接続が失われます。

ファクトリデフォルト

ファクトリデフォルトを使用すると、AXIS 1650 の設定を工場出荷時の状態にリセットすることができます。ただし、以下のパラメータはリセットされません。

- ノードアドレス (NODE_ADDR.)
- IP アドレス (INT_ADDR.)
- DHCP を有効にする (DHCP_ENABLE.)

ファクトリデフォルトは、AXIS 1650 の本体に備えられているテストボタンを利用したリセットとは動作が異なります。テストボタンを利用したリセットについて詳しくは、54 ページ「テストボタン」を参照してください。

Power インディケータが点灯し、Network インディケータが点滅し始めると、AXIS 1650 が使用できる状態になったことを示します。

注意：

- ファクトリデフォルトを実行している間、AXIS 1650 との接続が失われます。
- AXIS 1650 にプリンタが接続されていない場合、プリンタアイコンがグレーで表示されます。

プリントジョブ

[プリントジョブ] ページでは、印刷されたページ数などを含む、プリントジョブのステータスを確認することができます。また、ドキュメント名、オーナー、ページ数、印刷日時を含む、直近 32 個のログファイルを見ることができます。

ネットワーク設定

[ネットワーク設定] ページでは、AXIS 1650 とのネットワークトラフィックをコントロールするすべてのパラメータを設定することができます。対応するプロトコルの有効・無効を切り替えたり、パラメータの微調整を行うことができます。

詳細設定

[詳細設定] ボタンをクリックしてプロトコルの有効・無効を切り替えたり、他のパラメータの設定を変更してください。

フレームタイプ

フレームタイプは、Ethernet II を使用します。

IP アドレス

お使いの AXIS 1650 の IP アドレスを *w.x.y.z* の形式で入力します。ネットワーク上の他のデバイスとの競合を避けるためにも、ネットワーク管理者から未使用の IP アドレスを入手するようにしてください。

デフォルト値 = 192.168.0.90

注意：

- DHCP を有効にする、BOOTP を有効にする、または RARP を有効にするオプションで「はい」を選択した場合、プリントサーバを再起動すると手動で行った設定が上書きされることがあります。IP アドレスを手動で設定している場合は、これらのオプションを無効に設定してください。DHCP を有効にするオプションは、デフォルトで「いいえ」に設定されています。
- **重要！** IP アドレスを変更すると、プリントサーバとの接続が失われます。Web ブラウザの [場所 / アドレス] フィールドに新しい IP アドレスを入力してプリントサーバに再びアクセスし、設定・管理を行ってください。

サブネットマスク

トラフィックがいつルータを経由して送信されるかを決定するために使用されるサブネットマスクを指定します。サブネットマスクと IP アドレスの値を利用して、プリントサーバが属するネットワークを識別します。一般的なクラス C のネットワークの場合、サブネットマスクの値は 255.255.255.0 になります。

デフォルト値 = 0.0.0.0 (すべてのネットワークセグメントにアクセスが可能)

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。サブネットマスクによって決定されたローカルネットワークの外に向けられたすべてのトラフィックは、デフォルトゲートウェイに送信されます。他のルータへの再ルーティングは自動的に行われます。このパラメータが 0.0.0.0 の場合、デフォルトゲートウェイは設定されていないことになります。このような場合、AXIS 1650 はローカルネットワークセグメントの外に向けた自身のパケットを自動的に認識し、リダイレクトするルータがあるものと想定します。

デフォルト値 = 0.0.0.0

DHCP を有効にする

オプションボタンを選択して DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) の有効・無効を切り替えてください。DHCP を利用すると、プリントサーバの起動時に自動的に IP アドレスが設定されます。お使いのネットワーク環境によっては、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクなどのインターネット関連のパラメータも自動的に設定される場合があります。プリントサーバを再起動した際は、これらの設定を確認し、必要であれば手動で設定を行うようにしてください。

デフォルト値 = いいえ

BOOTP を有効にする

オプションボタンを選択して BOOTP (BOOTstrap Protocol) の有効・無効を切り替えます。BOOTP を利用すると、プリントサーバの起動時に自動的に IP アドレスが設定されます。お使いのネットワーク環境によっては、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクなどのインターネット関連のパラメータも自動的に設定される場合があります。プリントサーバを再起動した際は、これらの設定を確認し、必要であれば手動で設定を行うようにしてください。

デフォルト値 = いいえ

RARP を有効にする

オプションボタンを選択して RARP (Reverse Address Resolution Protocol) の有効・無効を切り替えます。RARP を利用すると、プリントサーバの起動時に自動的に IP アドレスが設定されます。このオプションは、単一のネットワークセグメント上でのみ使用することができます。RARP は IP アドレスの設定のみを行うため、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクなどのインターネット関連のパラメータは、手動で設定する必要があります。

デフォルト値 = いいえ

DNS サーバアドレス

DNS (Domain Name System) サーバの IP アドレスを指定します。DNS は名前を利用してクライアントコンピュータが TCP/IP ネットワーク上のリソースを見つけられるようにします。

デフォルト値 = 0.0.0.0

DNS の動的更新

DNS による動的な更新を有効にする場合は、**はい**を選択します。DNS は名前を利用してクライアントコンピュータが TCP/IP ネットワーク上のリソースを見つけられるようにします。

デフォルト値 = いいえ

DNS ホスト名

DNS のホスト名を指定します。この名前は、お使いのプリントサーバの識別子として使用されます。

デフォルト値 = <空白>

DNS ドメイン名

プリントサーバが属するドメイン名を指定します。ドメインとは、グループ名を割り当てられたネットワーク上のコンピュータの集まりを指します。

デフォルト値 = <空白>

WINS を有効にする

オプションボタンを選択して TCP/IP 上の WINS (Windows Internet Name Service) の有効・無効を切り替えてください。WINS は、NetBIOS 名を利用して Windows コンピュータが TCP/IP ネットワーク上のリソースを見つけられるようにします。

デフォルト値 = はい

WINS サーバアドレス

プライマリ WINS サーバの IP アドレスを指定します。WINS サーバは、IP アドレスの代わりにホスト名を利用してコンピュータを認識するために使用されます。

デフォルト値 = 0.0.0.0

WINS ホスト名

ここで設定したホスト名は、お使いのプリントサーバの識別子として使用されます。

デフォルト値 = <空白>

スコープ ID

プリントサーバが属する NetBIOS スコープを指定します。スコープ ID は文字列の値で、この値は NetBIOS 名に追加され、またすべての NBT 通信に使用されます。スコープ ID は登録された NetBIOS 名を認識するコンピュータのグループを定義します。同じスコープ ID を持つ複数のコンピュータは、NetBIOS を利用したトラフィックやメッセージを互いに通信することができます。

デフォルト値 = <空白> (デフォルトスコープを指定)

SNTP サーバアドレス

時刻を設定するための SNTP サーバの IP アドレス (またはホスト名) を指定します。

デフォルト値 = <空白>

SNTP 更新間隔

SNTP を更新する間隔を指定します。ここで指定した時間が経過すると、プリントサーバは SNTP サーバにリクエストを送信して時刻を更新します。

デフォルト値 = 1hours

SLP を有効にする

プリントサーバとの SLP 通信の有効・無効を切り替えます。

デフォルト値 = はい

SLP スコープリスト

プリントサーバが属する SLP スコープの名前を指定します。スコープは、スコープ名が割り当てられたネットワーク上のコンピュータの集まりを指します。

デフォルト値 = DEFAULT

サポート

[サポート] ページでは、インストールおよび印刷に関する問題解決に役立つ情報を提供します。問題が速やかに解決しない場合は、サーバレポートを利用してください。サーバレポートには、AXIS 1650 の設定、接続されているプリンタ、および現在のネットワーク設定などの情報が含まれており、問題の解決に役立ちます。

トラブルシューティングとアップグレード

プリントサーバを正しくインストールできない場合は、トラブルシューティングの手順を試してみてください。トラブルシューティングは、[サポート] ページの [手順] リンクをクリックして表示することができます。トラブルシューティングの手順を試した後もまだ問題が解決しない場合は、サーバレポートをお手元に用意して **Axis** 技術サポートにお問い合わせください。

サーバレポート

サーバレポートは、お使いのプリントサーバ、および接続されているプリンタの情報を含むドキュメントです。サーバレポートにはサポートに役立つ情報が含まれています。**Axis** 技術サポートにお問い合わせの際は、サーバレポートをご用意の上、問題の詳細をお知らせください。[サポート] ページの [サーバレポート] リンクをクリックし、サーバレポートと問題の詳細を電子メールで送ってください。

サーバレポートを送信するには、電子メールのアカウント、およびお使いのコンピュータにメールプログラムがセットアップされている必要があります。また、サーバレポートページへのリンクだけではなく、ページ全体をメールで送信するようにしてください。

Axis オンラインサービス

[製品ページ] リンクをクリックして、お使いのプリントサーバに関する情報を入手してください。

お問い合わせ

Axis ホームページには、製品に関する最新の情報、マニュアル、FAQ、ソフトウェア、技術情報などが公開されています。

統計情報

[統計情報] ページには、**AXIS 1650** のネットワークトラフィックに関する情報、また **AXIS 1650** が接続しているサーバや関連するサービスについての情報が表示されます。

[ネットワーク統計情報] は、**AXIS 1650** のデータトラフィックに関する情報を表示します。

[ネットワーク接続ステータス] は、**AXIS 1650** が接続しているサーバやネットワークサービスのリストを表示します。

ヘルプ

[ヘルプ一覧] ページには、**AXIS 1650** のオンラインヘルプの一覧が表示されます。

FTP を利用して AXIS 1650 を管理する

15 ページ「IP アドレスを設定する」の手順にしたがって AXIS 1650 に有効な IP アドレスを設定すると、FTP (File Transport Protocol) を利用してパラメータ設定を変更できるようになります。

config ファイルを編集する

以下の手順にしたがって、FTP を利用して *config* ファイルを編集してください。

1. DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開き、以下のコマンドを入力して AXIS 1650 にログオンします。

```
ftp <ホスト名> または ftp <IP アドレス>
```

2. ユーザ ID を入力します (デフォルトのユーザ名は root です)。
3. デフォルトのパスワードを変更している場合は、パスワードを入力します。
4. 以下のコマンドを入力し、*config* ファイルをホストに転送します。

```
get config
```

5. テキストエディタを利用して、*config* ファイルを編集します。
6. 以下のコマンドを入力し、AXIS 1650 に編集した *config* ファイルを保存します。

```
put config CONFIG
```

送り先のファイル名は、必ず大文字 (CONFIG) で指定してください。大文字で指定しなかった場合、編集は一時的なものとして扱われ、AXIS 1650 の電源を落とすと編集内容が失われてしまいます。

7. bye と入力して ftp コマンドを終了します。

次の例は、DOS 窓から FTP を利用してお使いのホストに config ファイルを転送し、AXIS 1650 に編集後のファイルを保存する方法を示しています。

```
> ftp npserver
connected to npserver.
220 AXIS 1650 FTP Print Server v1.0 Jul 20 2004 ready.
Name (npserver:thomas): root
230 User logged in
ftp> get config
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for config (192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.24 seconds (35.63 kbytes/s)
ftp> put config CONFIG
200 PORT command successful.
150 Opening data connection for CONFIG (192,36,253,4,13,223), (mode ascii).
226 Transfer complete.
8588 bytes received in 0.45 seconds (19.04 kbytes/s)
ftp> bye
221 Goodbye.
>
```

FTP のヘルプ

上記の手順 3 で help と入力すると、利用可能なコマンドのリストが表示されます。

SNMP を利用して AXIS 1650 を管理する

SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用して、AXIS 1650 をリモートで監視・設定することができます。AXIS 1650 の主な機能がすべてサポートされます。

一般的な情報

SNMP とは、プロトコル、データベース構造の仕様、データオブジェクトの集合を含む、ネットワーク管理のための基準の集まりを指します。AXIS 1650 の SNMP の実装は、TCP/IP ネットワークで動作します。

管理は、お使いのネットワーク上のホストで動作する NMS (Network Management System) ソフトウェアで行われます。NMS ソフトウェアは、1 つ、または複数のオブジェクトへの参照であるメッセージを利用してネットワーク機器と通信を行います。

メッセージは、機器に対する問い合わせや指示であったり、機器の特定の事象を引き金とする警報であったりします。オブジェクトは、MIB (Management Information Base) と呼ばれるデータベースに含まれます。MIB-II が標準的なデータベースです。

AXIS 1650 は、以下の MIB をサポートしています。

- MIB-II
- ホストリソース MIB
- プリンタ MIB
- キヤノン社の MIB

第5章 テストボタン

テストボタンは、AXIS 1650 の側面に備えられています。テストボタンを利用して、AXIS 1650 を工場出荷時の状態にリセットすることができます。

1. AXIS 1650 の外部電源アダプタを取り外します。
2. テストボタンを押しながら AXIS 1650 の外部電源アダプタを接続し、電源を入れます。
3. Network インディケータが点灯するまでテストボタンを押し続けます (20 秒程かかります)。
4. 外部電源アダプタを抜き差しして、AXIS 1650 を再起動します。

重要！

工場出荷時の状態にリセットしても、ノードアドレス (NODE_ADDR.) パラメータはリセットされません。

第6章 ファームウェアをアップグレードする

AXIS 1650 のファームウェア*はフラッシュメモリに保存されており、AXIS 1650 の電源を落とした後もデータは保持されます。フラッシュメモリを利用することによってデータの消去および上書きが可能となり、部品などを交換することなくお使いの AXIS 1650 に新しいファームウェアをインストールすることができます。ファームウェアのアップグレードは、ネットワーク上の AXIS 1650 に単純に新しいファームウェアをロードするだけで完了します。

*ファームウェアは、プリントサーバの機能を決定する内部ソフトウェアです。

AXIS 1650 のファームウェアは、Axis のホームページ (<http://www.axiscom.co.jp/>) から無料でダウンロードすることができます。

警告！

- ファームウェアのアップグレードを中断しないよう注意してください。アップグレードが中断された場合、修理が必要になることがあります。
- ファームウェアのアップグレードを行う前に、プリントサーバが印刷を実行していないことを確認してください。印刷が実行されている場合は、印刷が終了するのを待ってからファームウェアのアップグレードを行ってください。

FTP を利用してアップグレードする

- FTP を利用してネットワーク経由でアップグレードを行う前に、新しいファームウェアを入手してください。ファームウェアのファイル名は、製品名_バージョン.bin のようになります。
- AXIS 1650 に有効な IP アドレスを割り当てておく必要があります。

以下のアップグレード手順では、次の条件を例として説明しています。

- プリントサーバの種類 : AXIS 1650
- プリントサーバの IP アドレス : 192.168.70.113
- 新しいファームウェアのファイル名 : 1650_1_00.bin
- ファームウェアの保存先 : C:¥Axis
(お使いのコンピュータのハードディスクに「Axis」ディレクトリを作成し、ダウンロードしたファームウェアを Axis ディレクトリに保存しています。)

1. Axis のホームページから新しいファームウェアをダウンロードし、作成したディレクトリ (例 : C:¥Axis) にファイルを保存します。
2. DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。C: ドライブで作業していることを確認してください (c: と入力して Enter キーを押すと C: ドライブに移動します)。
3. cd Axis と入力して Enter キーを押します。
4. dir と入力して Enter キーを押します。Axis ディレクトリに含まれているファイルの一覧が表示されます。
5. ftp 192.168.70.113 と入力して AXIS 1650 にログオンします。
6. ユーザ名を入力します (デフォルトのユーザ名は root です)。Enter キーを押します。
7. デフォルトのパスワードを変更している場合は、パスワードを入力して Enter キーを押します。
8. bin と入力して転送モードを変更します。Enter キーを押します。
9. hash と入力して Enter キーを押します。
10. put コマンドを利用してファイルをアップロードします。
put 1650_1_00.bin FLASH と入力して Enter キーを押します。
11. DOS 窓に、Transfer complete, flash programming finished OK. というメッセージが表示されます。
12. AXIS 1650 は、約 5 秒後に新しいファームウェアを利用して再起動します。

付録 A ユニキャスト通信を使用する

重要！ ネットワークに関する設定は、ネットワーク管理者が行うようにしてください。

AXIS 1610 および AXIS 1611 は、ユニキャストモードに対応していません。

AXIS CAPT Print Monitor はブロードキャストによる通信を使用し、AXIS 1650 からのステータス情報をネットワークトラフィックを増やすことなく複数のユーザで共有することを可能にします。

AXIS 1650 は、デフォルトでブロードキャスト通信を使用します。

ブロードキャスト通信の使用が望ましくないと考えられる環境では、ユニキャストモードを使用してください。ただし、ユニキャストモードを使用すると、ネットワークの負荷が増加します。

ユニキャスト通信を有効にするには、AXIS 1650 で設定の変更を行ってください。また、AXIS CAPT Print Monitor のインストール時に、ユニキャストを使用するためのオプションを選択する必要があります。

以下の手順にしたがって、ユニキャスト通信を有効にしてください。

1. DOS 窓 (MS-DOS プロンプト、コマンドプロンプト) を開きます。c:¥<ディレクトリ名> と入力して Enter キーを押し、設定ファイルを保存するディレクトリに移動します。
2. ftp <IP アドレス> と入力し、Enter キーを押して AXIS 1650 にログオンします。
<IP アドレス> には、お使いの AXIS 1650 に設定されている IP アドレスを入力します。
3. ユーザ名を入力します (デフォルトのユーザ名は root です)。Enter キーを押します。
4. デフォルトのパスワードを変更している場合は、パスワードを入力して Enter キーを押します。
5. get config と入力して設定ファイルを取得します。
6. 設定ファイルを保存したディレクトリに config という名前のファイルがあることを確認します。

7. テキストエディタを利用して config ファイルを開きます。

```

config - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
SNMP_ACCESS_ENB. : YES
PUB_COMMUNITY. : public

--- Restrictions Menu
TCP_CONT_ENB. : NO
TCP_CONT_MODE. : Accept (Accept, Reject)
TCP_CONT_LIST. :
SNMP_CONT_ENB. : NO
SNMP_CONT_MODE. : Accept (Accept, Reject)
SNMP_CONT_LIST. :
SLP_CONT_ENB. : NO
SLP_CONT_MODE. : Accept (Accept, Reject)
SLP_CONT_LIST. :

--- TCP/IP Menu
TCP_FRAME_TYPE. : Ethernet_II (Ethernet_II)
G_ARP_ENB. : YES
INT_ADDR. : 192 168 70 113
NET_MASK. : 255 255 255 0
DEF_ROUT. : 192 168 70 1
DHCP_ENB. : NO
BOOTP_ENB. : NO
RARP_ENB. : NO
DNS_ADDR. : 0 0 0 0
DDNS_ENB. : NO
HOST_NAME. :
DOMAIN_NAME. :
WINS_ENB. : YES
WINS_ADDR1. : 0 0 0 0
WINS_HOSTNAME. :
NBT_SCOPE_ID. :
SNTP_ADDR. : 192 168 70 8
SNTP_CHECK_INTERVAL. : 10min (10min, 30min, 1hours, 3hours, 6hours, 12hours, 24hours)
SLP_ENB. : YES
SLP_SCOPE. : DEFAULT
USE_IP_PORT_NAME. (: YES)

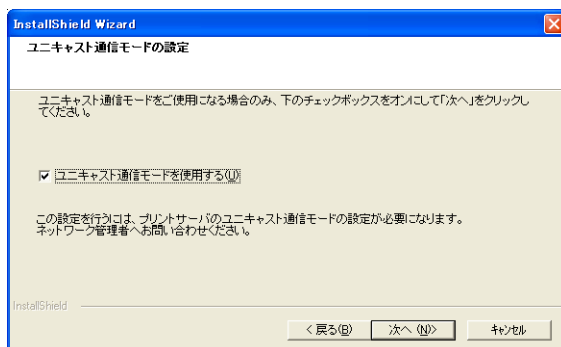
```

このパラメータを NO から YES に変更します。

8. **USE_IP_PORT_NAME.** パラメータを探します。パラメータの右側の値を、NO から YES に変更します。
9. 編集が終了したら、ファイル名を変更せずに (**config** のまま) 保存します。
10. DOS 窓に戻り、以下のコマンドを実行して設定ファイルを **AXIS 1650** にアップロードします。
`put config CONFIG`
- 送り先のファイルは大文字 (**CONFIG**) で指定してください。大文字で指定しなかった場合、編集は一時的なものとなり、**AXIS 1650** の電源を落とすと変更が失われます。
11. **bye** と入力して FTP セッションを終了します。

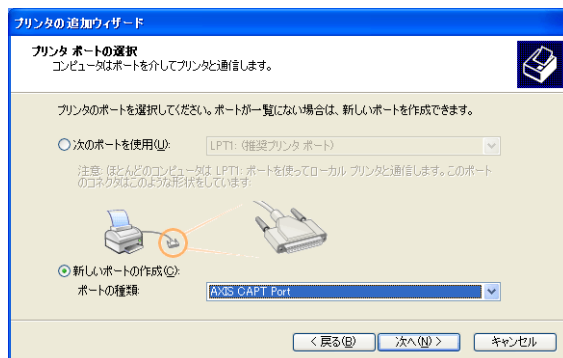
注意：上記の設定変更を行うと、プリントサーバ名 (**PS_NAME.**) の値が変更されます。プリントサーバ名には、**AXIS 1650** の IP アドレスのピリオド (.) をアンダースコア (_) で置き換えた値が表示されます。たとえば、**192.168.3.191** という IP アドレスを持つ **AXIS 1650** のプリントサーバ名は、**192_168_3_191** のように表示されます。

12. AXIS CAPT Print Monitor をお使いのコンピュータにインストールします。AXIS CAPT Print Monitor は AXIS 1650 CD に収録されています。また、Axis のホームページからダウンロードすることができます (<http://www.axiscom.co.jp/>)。
13. インストール手順の途中で、[ユニキャスト通信モードの設定] 画面が表示されます。[ユニキャスト通信モードを使用する] にチェックを付けて [次へ] をクリックします。



14. ウィザードの指示にしたがってインストールを終了します。
15. Windows XP Professional Edition/Server 2003 :
[スタート] - [プリンタと FAX] - [プリンタのインストール] をクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。
Windows XP Home Edition :
[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] - [プリンタのインストール] をクリックし、プリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。
Windows 2000:
[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択し、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動します。[次へ] をクリックします。
16. [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択します。[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックが外れていることを確認してください。[次へ] をクリックします。

17. プリンタポートの選択画面が表示されます。[新しいポートの作成] を選択し、ポートの種類から **AXIS CAPT Port** を選択します。[次へ] をクリックします。



18. [AXIS CAPT Port - プリンタポートの追加] 画面が表示されます。お使いの **AXIS 1650** の IP アドレスを入力します。
19. プリンタの製造元とモデルを選択し、[次へ] をクリックします。
- 選択したドライバが既にコンピュータにインストールされている場合、既存のドライバを使用するか、新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されます。[次へ] をクリックします。
20. プリンタの名前を入力する画面が表示されます。適切なプリンタ名を入力し、また、インストール中のプリンタを通常使うプリンタとして利用するかどうか選択します。[次へ] をクリックします。
21. プリンタの共有を指定する画面が表示されます。[次へ] をクリックします。
22. テストページの印刷画面が表示されます。[はい] をクリックしてテストページを印刷し、プリンタが正しくインストールされていることを確認してください。[次へ] をクリックし、[完了] をクリックしてプリンタの追加ウィザードを終了します。

付録 B Windows XP SP2 の Windows ファイアウォール

お使いのコンピュータに Windows XP Service Pack 2 (SP2) を適用した場合、ブロードキャスト通信を行う際にセキュリティセンターの設定で UDP ポート (10260) を開ける必要があります。ユニキャスト通信の場合は、ファイアウォールは閉じたままとなります。

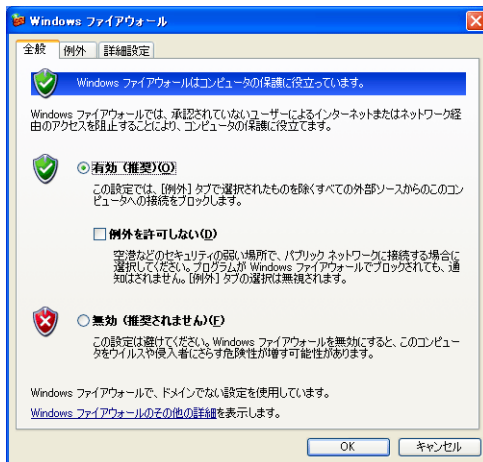
AXIS CAPT Print Monitor のインストール時に、[Windows ファイアウォール] 画面でオプションを有効にして AXIS CAPT Print Monitor をインストールした場合、AXIS CAPT Print Monitor 用に UDP ポート (10260) が自動的に開けられます。AXIS CAPT Print Monitor のインストールについて詳しくは、23 ページ「Windows 2000、XP、Server 2003 で AXIS CAPT Print Monitor を利用する」を参照してください。

以下の手順にしたがって、ファイアウォールの設定を行ってください。

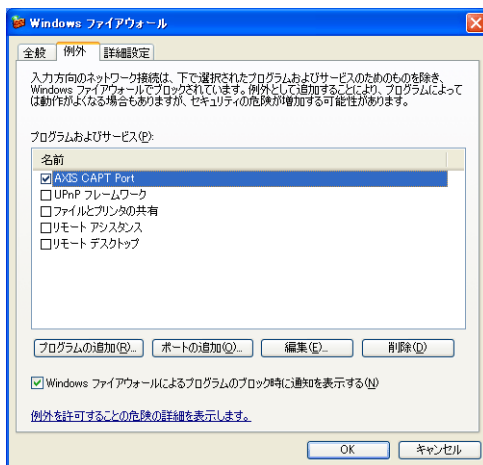
1. [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] を開きます。
2. [Windows ファイアウォール] をクリックします。



3. [有効 (推奨)] オプションが選択されていることを確認してください。また、[例外を許可しない] にチェックが付いていないことを確認してください。



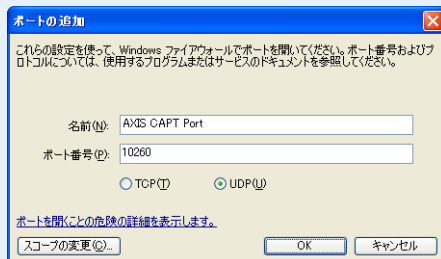
4. [例外] タブをクリックし、**AXIS CAPT Port** を選択します。



5. [OK] をクリックして Windows ファイアウォールの画面を閉じます。

注意：

AXIS CAPT Port を誤って削除してしまった場合は、[Windows ファイアウォール] - [例外] タブを選択し、[ポートの追加 ...] をクリックして AXIS CAPT Port を再作成してください。



技術仕様

対応するプリンタ

AXIS 1650 は、キヤノン製プリンタおよび複合機をネットワークに接続するために開発されたプリントサーバです。AXIS 1650 はホストベースの印刷方法である CAPT (Canon Advanced Printing Technology) および Canon Advanced Raster Printing System に対応しています。

重要：キヤノン製以外のプリンタには対応していません。

対応するシステム

Microsoft Windows :

Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003。

印刷方法：LPR、Raw TCP、Microsoft Windows における TCP/IP 上の CAPT。

WWW :

Netscape Communicator 4.7 以上、Internet Explorer 4.0 以上。

対応するプロトコル

Windows : TCP/IP、WINS。

TCP/IP : LPD、FTP、BOOTP、ARP、RARP、DHCP、ICMP、IGMP、IP、TCP、UDP、HTTP、SLP、SNMP、Raw TCP、DNS、DDNS。

ネットワーク管理

Web ブラウザ、または FTP を利用したプリントサーバ、プリントジョブ、プリンタステータスの表示および管理。

対応する言語

英語、日本語。

論理ネットワーク接続

ネットワーク速度を自動検知する NWay に対応。Ethernet II フレームタイプを使用、全二重。

物理ネットワーク接続

10BASE-T イーサネット、100BASE-TX ファーストイーサネットのための RJ-45 コネクタ (カテゴリ 5 シールド付きツイストペアケーブル)。

プリンタポート

- USB 1.1 および USB 2.0 で動作する USB ポートを 1 つ備えています (Low-Speed と Full-Speed に対応)。付属の USB ケーブルも Low-Speed と Full-Speed に対応。Hi-Speed には対応していません。
- プリンタの平行ポートに直接接続することができる、高速 IEEE 1284 互換平行ポートを 1 つ備えています。

消費電力

最大 5.6 W。専用外部電源 (PS-H : 5.1V DC 2000 mA) より供給。

寸法

高さ×幅×奥行 : 29mm × 62mm × 117mm、重さ : 81g

動作環境

温度 : 5 ~ 40 °C

認可 (EMC)

EN 55 024:1998

EN 55 022:1998 + A1 (CISPR 22:1997 + A1) Class B

EN 61000-3-2:2000

EN 61000-3-3:1995+A1

VCCI:2002 Class B ITE (CISPR 22:1997 + A1:2000, Class B

C-tick AS/NZS 3548

FCC part 15, subpart B, Class B, demonstrated by compliance with EN 55022:1998 (CISPR 22:1997) Class B.

安全性

EN 60950, approved power supplies for all countries.

ハードウェア

32 ビット 100 MHz AXIS ETRAX 100LX RISC コントローラ。2M バイトフラッシュメモリ、8M バイト RAM。

フロントパネル

LED インディケータが 2 つ (Power、Network)。

工場出荷時の状態にリセットするためのテストボタン。

すべての仕様は予告なく変更される場合があります。

保証について

AXIS 1650 は、お買い上げ頂いてから一年間、センドバックによる無償保証が付いております。ただし、製品に付属の「お客様登録カード」をお送り頂いた方だけのサポートとなります。また、有償で保証期間を一年間だけ延長することができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、保証期間終了後の故障に関しては、実費負担となります。

索引

- A**
AXIS CAPT Print Monitor 22
- B**
BSD 17
- C**
Canon Advanced Raster Printing System 11
CAPT 11
config ファイル 51, 59
- D**
DHCP 47
DHCP スコープ 21
- F**
FTP 51
- I**
IP アドレスの設定 15
 ARP を利用する 16
 NetSpot Device Installer 18
- R**
Root パスワード 42
- S**
SLP を有効にする 49
SNMP 53
SNMP 制限 43
SNMP 制限 IP アドレスリスト 44
SNMP 制限モード 44
SNMP を有効にする 42
- T**
TCP 制限 43
TCP 制限 IP アドレスリスト 43
TCP 制限モード 43
- U**
UDP ポート 24, 62
UNIX 17
- W**
Windows ファイアウォール 62
WINS 21
- い**
イーサネットアドレス 13
- か**
管理者モード 37
- く**
クリップ 14
- け**
言語 39, 42
- こ**
工場出荷時の状態にリセット 54
コミュニティ名 43
- さ**
再起動 45

- し**
システムの名前 42
システムの場合 39, 42
システムの連絡先 42
シリアル番号 14, 39, 41
- せ**
セキュリティセンター 62
設定方法
FTP 51
SNMP 53
内部 Web ページ 38
- て**
底面ラベル 13
テストボタン 10, 13, 54
デフォルト値 41
- ね**
ネットワーク設定 46
- は**
パラメータリスト 45
- ひ**
標準 TCP/IP プリンタポート 32
ピアツーピア印刷 22
- ふ**
ファームウェア 9, 55
ファクトリデフォルト 45
フラッシュメモリ 55
ブロードキャスト 62
プリンタポートのインストール
Windows 2000、XP、Server 2003 23
Windows 98、Me 29
プリントサーバ名 39, 41
プリントジョブ 40, 45
- ほ**
ホスト名 21
ホルダー 14
ポートの構成 34
- ゆ**
ユーザ名
root 38
ユーザモード 37
ユニキャスト 58
- り**
リモートプリンタポート 31
- ろ**
ローカルプリンタ 30